

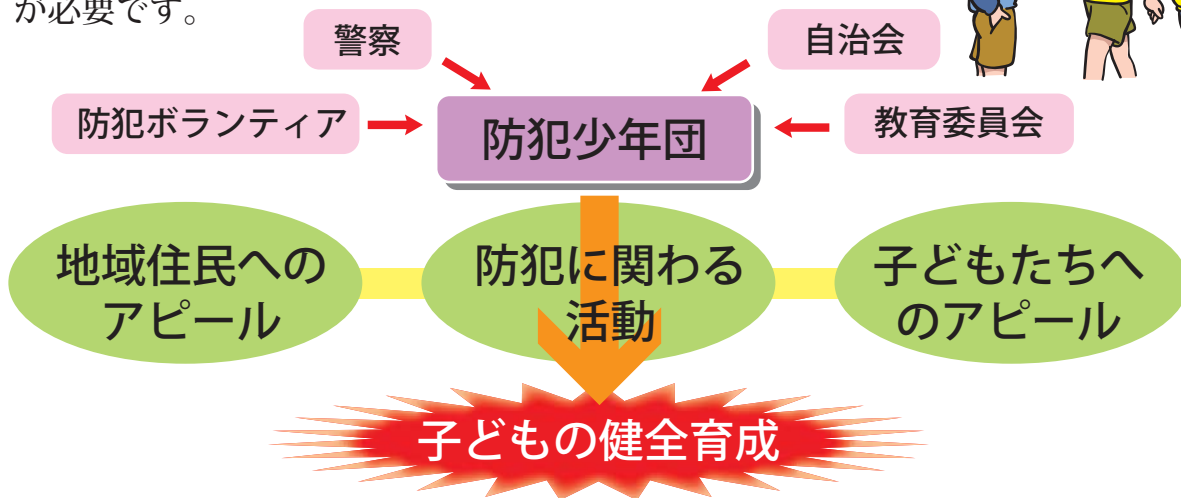
14

少年団も頑張っている

非行防止の取り組み

防犯少年団は地域に居住する青少年が参加し、地域への防犯活動や啓発活動などを行うボランティアグループです。将来を担う少年たちを心身共に健全で明るくたくましく育て、犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりのため活動します。活動の目的は、子ども自身が安全について学び、防犯について考え行動し、防犯知識の習得と危険から身を守る能力の向上を図るとともに、子ども同士による安全知識の普及を行うことなどが挙げられます。

防犯少年団は地域の防犯ボランティア団体や自治会が中心となって推進委員会を組織し、地域の子どもの参加を呼びかけて結成します。教育委員会や警察が呼びかけて、学校ごとに組織される例もあります。大切なのは、子どもたち自身が防犯のために何をすればよいかを考え、自主的に地域の防犯活動を実施することです。また、それらのボランティア活動を通じて子どもたちの中から防犯リーダーを育て、リーダーの指導の下に活動を継続していくことも大切です。推進委員会が結成されれば、活動組織や活動内容を話し合い、一般の防犯ボランティア団体と同じように、腕章やタスキ、のぼりや目立つ色のジャンパーなどを用意して結団式を開催するなど、大人の支えと指導が必要です。



子どもたちの健全育成が大きな目的

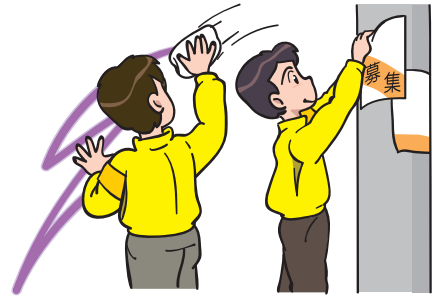
規準表〈44a〉 非行防止に関する取り組みについて理解している。

ねらい □□ ①非行防止に関する取り組みについて具体的な事例を説明できる。

14

防犯少年団の活動

具体的な活動内容例としては、まず、電柱に糊付けされた違反広告のはり紙をはがしたり、壁の落書きを消したり、路上のタバコの吸殻やゴミを拾ったりする地域の環境美化活動が挙げられます。また、校区内の見回りを行い、その際に犯罪や非行防止を呼びかける防犯パトロールも重要な活動です。これら以外にも、駅前やショッピングセンターなどで万引きや車上ねらい、ひったくりなどの防止を呼びかけるビラやティッシュを配ったりする防犯啓発キャンペーンや、駐輪場で自転車の防犯登録や施錠の状態を調べる自転車の安全診断、防犯パトロールで調べたことを地域の地図にまとめる地域安全マップづくり、老人ホームへの慰問など、様々な活動があります。



—ビデオ資料— (関連ビデオ→ 子どもたちとの防犯活動、非行防止と若年層の参加)

※ビデオを見て防犯少年団の活動と効果のポイントをまとめてみましょう。

Column

防犯少年団の役割

防犯少年団は子どもたちの健全育成の場としてだけでなく、学校以外の子どもの居場所としても大きな役割を果たします。そのためには、防犯少年団を指揮する大人が子どもたちとの会話を積極的に行うことが大切です。子どもが積極的に活動に取り組めるようにするためにも、子どもと話せる環境づくりを行い、活動を推進していくことが重要であるといえるでしょう。